

# 地域プロジェクトⅡ(応用編)

自由 開講年次：2年次・3年次・4年次(通年) 科目区分：演習 単 位：2単位 講義時間：60時間

■**科目のねらい**：地域の概念やしくみ・プロジェクトの実現に必要な基礎知識を基盤とし、実際に地域の活性化を目指し、教員が立案・計画したプロジェクトにメンバーとして参加する事を通して、地域課題を解決するために必要な能力を習得する。

■**到達目標**：①公開講座に企画運営者の視点から参加し、地域の概念やしくみ・札幌市の特徴、地域課題の解決に向けた知識の普及方法について理解を深める。  
②教員が、地域と連携し、企画する地域プロジェクトにメンバーとして参加することを通して、地域の課題解決につながるプロジェクトを成立させるために必要な基礎的知識、技術、態度について考察する。

■**担当教員**：【◎は科目責任者】

◎中原 宏・◎定廣 和香子・大淵 一博

■**授業計画・内容**：

## Section 5. 地域活動の実際を知る (advance)

1. 地域活動に関わる特別講義・公開講座への参加  
(企画・運営の視点から)

## Section 6. 地域プロジェクトを計画する (basic)

1. 地域プロジェクトの計画にメンバーとして参加する。

## Section 7. 地域プロジェクトを実践する (basic)

1. 地域プロジェクトの運営にメンバーとして参加する。

## Section 8. 地域プロジェクトを評価する (basic)

1. 報告会 (地域住民向け)
2. アフターセッション (プロジェクトの評価と活動の自己評価)

■**教科書**：特になし

■**参考文献**：適宜参考資料を提供する。

■**成績評価基準と方法**：授業態度 (活動の態度や言動・活動計画・記録、報告会にむけての準備) 40%、発表20%、課題・作品40%、出席状況 (活動受け入れ先の実施証明書、報告会の参加状況) から総合的に評価する。

評価方法	到達目標			評価基準	評価割合 (%)
	到達目標①	到達目標②	到達目標③		
定期試験					
授業態度	○	○	◎	活動記録や活動受け入れ先の評価	40
発表			◎		20
課題・作品		◎	○	Section 6.の企画書および、報告書・報告内容を含む	40
出席	○	○	○	2/3以上の出席	欠格条件
その他					

◎：より重視する ○：重視する 空欄：評価に加えず

■**関連科目**：スタートアップ演習、学部連携基礎論、札幌を学ぶ、ボランティア活動を考える

■**その他 (学生へのメッセージ・履修上の留意点)**：学生は、公開されているプロジェクトの担当教員と面談の上、活動内容を決定し、計画を立案する。毎回、活動記録および活動受け入れ先の実施証明書を提出する。2年次生は、地域プロジェクトIの単位を取得している必要がある。3・4年次生は、Section 5の開始に先立ち地域プロジェクトI:Section 1を聴講すること。